

5: 地域レベルの公共施設の再編の考え方

- ①学校の適正配置と地域コミュニティ施設の拠点化を同時に実施
 - ②小学校区を「地域」ととらえ、小学校を地域の拠点に位置づける
- 再編後の地域拠点のあり方は、「小・中学校の適正配置」と「地域コミュニティ施設の拠点化」を同時に実施することとし、両施設の親和性を踏まえ、小学校区単位で再編を検討することとします。



Part 3

全市レベルの公共施設の再編の方向性



全市レベルの公共施設の再編

全市レベルの公共施設については、前述した考え方に基づき、次のとおり再編を進めます。なお、現施設で継続とした公共施設についても、状況やニーズの変化などを考慮しながら随時見直していきます。

機能	建物・施設名	施設の再編の方向性
1 行政事務相談 防災	清瀬市役所	平成32年に竣工予定の新庁舎で機能継続
2 行政事務 ごみ処理	清掃事務所	行政事務機能は新庁舎へ移転(新庁舎供用開始後に実施)、ごみ処理機能は現施設で当面継続
3 行政事務 相談 健康づくり	健康センター	行政事務機能及び相談機能は新庁舎へ一部複合化、健康づくり機能は現施設で継続(新庁舎供用開始後に実施)
4 行政事務 子育て・教育	中央児童館	行政事務機能は新庁舎へ移転、子育て・教育機能は現施設で継続(新庁舎供用開始後に実施)
5 生涯学習 市民活動 文化・芸術	ころぼっくるセンター	現施設で継続
6 行政事務 相談	子ども家庭支援センター	行政事務機能、相談機能ともに健康センターへ複合化(新庁舎供用開始後に実施)
7 相談 適応指導	教育相談センター	相談機能、適応指導機能ともに健康センターへ複合化(新庁舎供用開始後に実施)
8 行政事務 生涯学習	生涯学習センター	行政事務機能は新庁舎へ移転、生涯学習機能はアミューで継続(新庁舎供用開始後に実施)
9 行政事務 相談	男女共同参画センター	現施設で継続
10 市民活動	消費生活センター	機能を再構築し、アミューなどへ移転を検討

機能	建物・施設名	施設の再編の方向性
11	清瀬・ハローワーク就職情報室	現施設で継続
12 就労支援	障害者就労支援センター	現施設で継続
13	シルバー人材センター	現施設で継続
14 生涯学習	中央図書館	機能を再構築し、複合化・機能の移転を検討
15 市民活動	きよせボランティア・市民活動センター	コミュニティプラザひまわりへ移転
16 健康づくり	健康相談所(休日歯科応急センター)	歯科医師会の協力を得て歯科医の輪番制などを導入し廃止
17 生涯学習 スポーツ 市民活動	コミュニティプラザひまわり	現施設で継続
18	市民体育館	現施設で継続
19	下宿市民プール	耐用年数を超えた時点で廃止
20 スポーツ	コミュニティプラザひまわり体育館(多目的屋内広場)	現施設で継続
21	郷土博物館	現施設で継続
22	旧森田家	保存方法を検討し、現施設で継続
23 文化・芸術	清瀬けやきホール	現施設で継続
24	せせらぎの家	現施設で継続
25	障害者福祉センター	現施設で継続
26 福祉	子どもの発達支援・交流センター	現施設で継続

Part 4

公共施設再編の今後の取り組み

地域レベルの公共施設の再編の方向性

地域レベルの公共施設は、地域の市民が主体となって活動する機能を有する施設が多く、市民や利用者の利用実態やニーズを詳細に把握する必要があります。

2019年度、それらについて調査し、その結果を踏まえながら2020年度以降、市民の皆様との合意形成を経ながら方向性を定めることとします。

計画の進行管理・見直し

この再編計画は、今後の社会情勢や法令・国の施策などの動向、各公共施設を取り巻く環境の変化などにより、見直しが必要になる場合があります。計画の進捗状況を確認し、進捗の遅れや計画の推進にあたっての課題が認められる場合には、その解決に向けて見直していくことが必要です。PDCAサイクルに基づく進行管理を行いながら、計画を推進していきます。



誰もが使いやすい公共施設を目指して、みんなで再編計画を考えよう!

市民説明会を開催します

- 「清瀬市公共施設再編計画(案)」について市民説明会を開催します。
- 日 2月5日(火)午後7時~8時(終了予定) 場 男女共同参画センター
- 問 企画課企画調整担当 ☎042-497-1802
- ※直接会場へ。

